

価値創造プロセスのポイント

日エグループが存在意義、ミッションである「一歩先ゆくエンジニアリングから、社会基盤をアップデートする。」をもとに、長期ビジョンである「世界を、強くやさしい街に。」を果たすためには、価値創造ストーリーの実現が必要です。そのためには社会課題と業界変化を正確につかみ、強みを持つINPUTから中期経営計画の戦略を中心とする事業活動により、OUTPUTからOUTCOMEである社会・環境価値の実現を果たすことが必要です。

中期経営計画(2022-2024)



事業活動とバリューチェーンのポイント

日エグループの事業は、殆どがB to Bであり、お客様は道路舗装会社やインフラ、建設関連企業等です。事業区分としては、アスファルトプラント（AP）関連、コンクリートプラント（BP）関連、環境及び搬送関連、破碎機、製造請負、その他からなります。海外売上高は全体の8%を占めており、中国の割合が高くなっています。

各事業部には生産、販売、技術の機能があり、お客様から直接受注するものと代理店を通して受注するものがあります。その多くを占める受注品はお客様との打ち合わせ後に見積りを提出し、契約をした後に設計、生産、調達、施工、納品、代金回収、メンテナンスサービスのビジネスバリューチェーンからなります。日エのバリューチェーンには、安心・安全、品質、コンプライアンス等が基準として組み込まれており、これらに独自の事業活動を組み合わせることで、お客様へ価値の提供を行います。

コア技術の内容



混練
Mixing

液体から個体迄、様々な材料を混ぜたり、練ったりする技術



加熱
Heat Technology

高火力で素材を燃焼・乾燥させる技術



制御
Control Technology

IoTやAIを活用して、プラントや機械の頭脳を設計・製作する技術



搬送
Material Handling

斜めでも垂直でも、材料を選ばずに運び、仕分けまでする技術

→4つ+αのコア技術を駆使して、主要事業の領域から新分野へと展開していきます。

価値創造と関連する経営資本

	2030年ビジョンで 目指す姿	INPUT項目 (2024年3月期)	主に関連する マテリアリティ	OUTCOME (2024年3月期)	参照ページ
 財務資本	- 売上高700億円、営業利益率10%、ROE10% - 時価総額500億円	総資産622億円、自己資本比率53.1%、有利子負債107億円	カーボンニュートラルの実現、人材育成と働きがいの向上	ROE4.1% (エクイティスプレッドー 0.5pt)、配当性向87.6%	▶ P29
 製造資本	高水準な設備投資の継続、業務平準化やグループ会社との協働による能力増	設備投資23億円、総資産に占める有形固定資産21.3%	新たな顧客価値の創造、人材育成と働きがいの向上	有形固定資産132億円 (+14億円)	▶ P27
 人的資本	- DE&I進展による組織風土の变革と収益への貢献 - 女性管理職比率7.0%	連結従業員数1,117名 (うち外国人従業員225名)	新たな顧客価値の創造、人材育成と働きがいの向上	女性管理職比率1.0%、離職率 (3年以内) 10.3%	▶ P25
 知的資本	脱炭素化、資源循環社会の確立に向けたトップメーカーとしての具体的な提案	研究開発費6億円、特許保有件数214件	新たな顧客価値の創造、カーボンニュートラルの実現	特許登録件数7件 (+1件)、意匠登録件数2件 (-11件)	▶ P26
 社会関係資本	サプライヤーとの協働による技術・技能の継承、地域社会との共存共栄	トンボ会 (販売店) 122社、アキツ会 (協力工事) 210社	新たな顧客価値の創造	取引先様との高い信頼関係、地域社会への貢献	▶ P28
 自然資本	2030年度のスコープ1&2&3を約50%削減 (2021年度比) - 脱・低炭素製品売上高32億円	電力使用量 (単体) 349万MWh	カーボンニュートラルの実現、資源循環型社会の確立	- CO₂排出量 (スコープ1&2&3) : 41%減 (2013年度比) - 脱・低炭素製品売上高12億円	▶ P28